

学校だより 7月

令和4年 7月1日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

歴史の重みを感じて

校長 馬渡 照代

先月は、4年生、5年生が、それぞれ宿泊体験学習に行ってきました。学校としては、3年ぶり、子どもたちにとっては初めての宿泊になりました。そのため、子どもたちはワクワクドキドキ、職員は楽しみと少しの不安を胸に抱いて出発しました。両者とも、多少天候に左右された面はありましたが、友だちとの仲を深め、自然に大いに触れて充実したひとときを過ごしたようです。この経験を生かして、更に成長して欲しいと願っています。

また、6月29日は、大岡小学校の150回目の誕生日でした。今年は、全校で「創立記念日」をお祝いし、子どもたちは、大岡小学校の歴史を学びました。一部を紹介します。明治5年の学制発布に従って、現在の大岡小学校のある地域にも、「大岡学舎」「最戸学舎」「井谷学舎」の3つの学舎ができました。この3校が、私たちの学校の始まりです。明治21年には3つの学舎が合併して、大岡川村公立大岡川学校と改められました。児童数は310名となり校舎が手狭になったため、明治23年に校舎を新築しました。児童数は、920人に増えましたが、更に増加して手狭になったため、2階建ての校舎が建てられました。明治25年には、小学校令により、久良岐群大岡川村立尋常高等大岡川小学校と変わりました。その後、横浜市の発展に伴い明治44年に久良岐群が横浜市に合併され、学校名は、横浜市立大岡尋常小学校となりました。私たちが日頃親しんでいる校章・校旗・校歌は、この大岡尋常小学校時代に作られたものです。

その後、関東大震災によって木造校舎は倒壊し、火災で焼失してしまったため、しばらくは青空教室でした。やがて仮校舎が建てられましたが、安全性に問題があり、子どもたちを安全な校舎で学ばせたいと考えた横浜市は、近代的な耐火・耐震の鉄筋コンクリート造りの校舎を作ることにしました。計画から5年後の昭和3年に立派な校舎ができ、当時の子どもたちや保護者の皆さん、先生方は大いに喜び、震災で傷ついた心も少しずつ立ち直っていったそうです。

昭和は、長く辛い戦争の時代でした。昭和16年には教育の決まりが変わり、学校の名前が横浜市大岡国民学校となりました。学習内容も変わって戦時色が強くなっていき、子どもたちは、とても不自由な学校生活を送りました。そして、集団疎開、横浜大空襲等、多くの苦難を乗り越えてようやく終戦を迎えました。大岡小学校の校舎は、被害を受けることがなく9月には学校を再開できましたが、子どもたちの多くは小田原に集団疎開していました。そのため、再開後に集まった子どもたちは、ほんのわずかだったそうです。その後、役所の指示でようやく9月には横浜に帰ってくることができ、11月には無事、授業を再開できました。

そして、戦後学校教育制度が整えられて、ついに横浜市立大岡小学校となりました。当時の本校は、横浜市内で最も児童数の多い学校として有名で、しかも、全国第2位の2,979名の児童数を誇っていました。しかし、それでは勉強する環境が整えられなかったため分校を作り、それが南小学校となりました。昭和3年に作られた校舎は、50年以上経って老朽化したため、昭和59年に現在の校舎が完成し、今に至っています。

150年の歴史を有する大岡小学校の卒業生の方の人数は、正確に記されている明治23年から今年までで19,239名でした。それ以前は、残念ながら資料が残されていないので不明ですが、合わせると2万人に迫るのでは、と想像できます。これだけ多くの卒業生を輩出している小学校は、そう多くはないはずです。在校生の中には、お父さんやお母さん、おじいさん、おばあさんのどなたかが大岡小学校の卒業生という子どもたちが、何人もいます。3世代、4世代に渡って「大岡っ子」という場合もあることでしょう。これらのこと全てが、大岡小学校150年の長きに渡る歴史を物語っているように思います。

私は、大岡小学校で2年目を迎えますが、常々、こうした多くの卒業生の皆さんや地域の方々に学校や子どもたちを温かく見守っていただいていること、そして、保護者の方も含め、本当にたくさんの思いや熱意に支えられた学校であるということを感じています。本当にありがたいと思うと同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。

現在大岡小学校で学んでいる635人の子どもたちには、大岡小学校に関わる多くの方々の思いや熱意に応えるためにも、今できる最善の努力をして欲しいと思います。そして、大岡小学校で学ぶことに誇りをもち、「大岡小学校の卒業生」ということを胸を張って言える立派な大人になって欲しいとも願っています。そのためにも150年目を新たなスタートとし、教職員一丸となって子どもたちを支え、導いていく所存です。今後とも、皆様方には、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしく願いたします。

※資料―「創立100周年記念誌」「創立120周年記念誌」「わたしたちの大岡」参照